

豊丘村立豊丘南小学校



(1) 学級数 13 学級

(2) 児童・生徒数 231 名

(3) 職員数 39 名

(4) 学校紹介 <https://www.vill-toyooka.info/minami/>

本校は下伊那郡北部の豊丘村にあり、果樹や松茸など豊かな恵みをはぐくむ地に、明治6年「浦田学校」として開校以後、村内地区の合併とともに昭和30年「豊丘南小学校」と改称し、今年で開校148年目を迎える。学校教育目標を「かしこく やさしく たくましく」とし、「自分からすすんで行う子」を目指して教育活動に取り組んでいる。地域とのつながりも深く、日々の見守りやクラブ活動支援、花壇づくりなど地域の方と共に活動している。

(5) 日常的な情報機器の活用

①教科学習での利用

- ・電子黒板とデジタル教科書は日常的に使用。
- ・スプレッドシートやキャンバで個人の考えの共有や授業の振り返り。
- ・スライドに学習で分かったことをまとめたり、調べたことを整理したりして発表。
- ・写真を撮って観察記録を作ったり、スケッチの手本にしたりする。
- ・ポスターやメッセージカードをキャンバで編集。

・キャンバの付箋機能で絵図や地図等の気になったところに付箋を貼るなどして共有。

・授業・家庭学習等で、eライブラリやスマイルネクストなどのドリルソフトを使って反復学習。

調べ学習や音楽会の個人練習、特別支援学級のビジョントレーニングや個別学習等々、様々な場面での利用を進めている。

②教科学習以外では

- ・1年生を迎える会で、学校紹介やクイズをスライドにまとめて発表。
- ・動画を撮影して、〇〇週間・委員会発表に活用。

③学校全体として

校務支援システムを昨年度から導入した。校内連絡は主にそれを利用し、職員会議はペーパーレス化。家庭とは、欠席連絡や学校文書送付でクラウドを利用。学校評価アンケートをフォームで集計。また、全校研究では「ICT活用」と「授業づくり」に分かれて、授業改善と担任の日常的ICT活用の2つの視点から実践的研究を進めている。

(6) 課題等

情報機器やタブレットの利用は日常化してきているが、自分から情報を分析し、考えを整理して発信できる力や情報モラルやセキュリティ意識の育成を図る必要がある。また、ICTを利活用した実践事例の蓄積を進め、研究テーマ「問いや気づきを伝え合い、学びを深める子ども」に向けて、指導の効果を高める職員のICT活用スキルの向上を図りたい。

